

平成24年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	広報たかなべ発行業務			基本目標	広報公聴活動の充実		
担当課(局)・係	政策推進課	情報政策係	記入者	金城 朋子	評価者	森 弘道	開始年度 S34 年度

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	高鍋町民											
	意図・目的	高鍋町の課題や行政施策等を町民に周知するためにこの事業を行い、双方の意思疎通を図る。											
事業の内容	高鍋町の課題や行政施策等を掲載した広報を年6回発行し、行政事務連絡員を通じての全戸配布、関係自治体や報道機関への郵送、町内各公共施設での備え置きを行う。												
23年度決算額		1,770	千円	24年度予算額		1,827	千円	事業従事者数	H23 0.45	人	H24 0.55	人	
主な支出項目	印刷製本費	1,770	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	23年度人件費	3,212				千円
			千円		県支出金		千円	24年度人件費	3,929				千円
			千円		地方債		千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)		75.7			%
			千円		一般財源	1,383	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください					
			千円		広告収入	444	千円						
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		-							
	補助交付団体			-		補助金要綱		-					
	23年度	補助額	-	千円	補助の形態	-	H24年度補助額	-	千円	終期	-	年度	
		団体の決算額	-	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等								
		補助の割合	-	%									
繰越額		-	千円										

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 配布部数	町民にとって重要かつ有益な情報を伝達するための広報手段として大きな役割を果たした。	
	2		
	3		
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 発行回数	年6回(奇数月の第3金曜日)発行	
	2 取材回数	1発行につき平均38回	
	3 掲載平均ページ数	1発行につき平均12ページ(16ページ構成:2回、12ページ構成:2回、8ページ構成:2回)	

◎達成状況

	指標名	単位	22年度	23年度	24年度	
			目標値	実績値	達成率	
成果指標	配布部数	部	8,650	8,650	8,650	
		部	8,650	8,650		
		%	100.0%	100.0%		
		目標値				
		実績値				
		達成率	%			
	活動指標	発行回数	回	6	6	6
			回	6	6	
			%	100.0%	100.0%	
取材回数		回	30	38	38	
		回	35	38		
		%	116.7%	100.0%		
掲載平均ページ数		頁	10	11	11	
		頁	10	12		
		%	100.0%	109.1%		

事務事業名	広報たかなべ発行業務	担当課(局)	政策推進課
-------	------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数
			自己評価
(必要性) ①	「議会だより」「お知らせたかなべ」も全戸配布の広報紙であるが、課題や行政施策等の情報提供を行うものではない。広報広聴活動の充実を図り、町民参画の行政運営を進めていくうえで、この事業は欠かせない。	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2
		◎事業廃止による影響があるのか	2
有効性 ②	目的に合った成果はおおむね得られている。	◎目標に対して成果は得られているか	2
		◎すでに目的は達成されていないか	1
効率性 ③	取材回数を増やすことは、広聴活動の充実を図ることにつながる。また、一定の掲載ページ数を確保することで、時期を捉えた情報提供を効果的に行うことができる。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2
		◎費用対効果が十分に認められるか	2
協働性 ④	町民からの取材協力は、大きな協働であると考える。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	1
合計(最高18点)			16

※町補助をしている場合のみ記入

(公平性) ⑤		◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	
		◎町民の理解が得られる事業であるか	
合計(最高4点)			0
その他 ⑥			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	担当者記入欄	今後の方向性			
		事業の方向性	コスト	維持	拡充
◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	町民への情報手段として不可欠であり定期的に発信するものであり、将来町の出来事を顧みるときにも貴重な資料となる。今後とも掲載記事を増やすなど内容充実に努めてもらいたい。	拡充 ○			
		維持 〇			
		縮小 〇			
		廃止 〇			
		廃止 〇	縮小 〇	維持 〇	拡充 〇

◎事務事業評価委員の意見等

・町の話題等町民に対しての啓発のため必要である。 ・町民の認知度、必要度など、町民の意向を判断できる方策を検討できないか。 ・行政情報の伝達手段として必要不可欠なものである。 ・有料広告掲載事業と兼ね合いがあるが、広告料確保に努めて、質量ともに充実を図ってほしい。	◎今後の方向性
	事務事業評価委員会 判定: 維持
	外部評価委員会 判定: